

---

# 木と私

清水 秀之助

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

木と私

### 【Nコード】

N9366U

### 【作者名】

清水 秀之助

### 【あらすじ】

人生は苦しいし、辛いし、難しい。そう感じている全世界の「私」が、ほんの些細な事から幸せを感じていく。そのきっかけのようなもの。

いま私は木に身を委ねて座っている。

大草原の中にポツンと、いや見方によっては堂々と立っている木。ここに存在するのは草と木、そして私。

地平線の向こうまで果てしなく広がる草原が、私の中に存在する苦しみや侘しさを何処か遠くの見えない場所まで運んで行ってくれそうだ。

一見それは有り難く思えるが、その感情を私から奪い取ったら一体私の中には何が残るというのか。

木は、いわば私自身だ。孤独だし、言いたいことを口に出すこともできない。

だがこの木が今までどのような環境で生きてきたのかなんて、知りもしない。

生まれた時から1人だったのか、それとも周りの仲間はずでに死んでしまったのか。

私としては後者であることを願っている。この木が初めて体験する別れの相手が私ごときであってはならない。

あるとき私は木漏れ日を浴びた。今までにない感情が芽生えはじめた。いや、はるか昔に感じた、忘れかけていた感情だ。それをこの木が思い出させてくれた。

この時私は、木と私が違うことに気付いた。

あるとき雨が降った。木は私を守ってくれた。  
私は1人じゃないと感じた。  
この木が感じさせてくれた。

私は木になりたいと思った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9366u/>

---

木と私

2011年10月9日10時59分発行